

理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：松田直子 所属：薪く炭く KYOTO (しんくたんくきょうと)

課題名：森林バイオマスすごろく附属の環境教材キットの作成

1. 課題の主旨

森林バイオマスすごろく～しんたんくん一家の春夏秋冬～を発展させ、環境教育の場（学校等の授業・総合学習、地域講座、NPO活動）で利用可能な附属の環境教材キット（①すごろくの拡大版、②紙芝居）を作成し、よりすごろくの理解を深めること。

2. 活動状況

すごろくの附属の環境教材として、以下の2種類を作成した。

- ①すごろくの拡大版…人間がコマとなり、移動して行う拡大版すごろくキット一式
- ②紙芝居…森林バイオマスの使い方や楽しさをイラストでわかりやすくまとめた話
紙版及び電子データの作成

【各教材は、別紙1、2参照、紙芝居・音声付きの電子データはCD-R内】

また、すごろくの実演及び講義の実施状況は下記のとおりである。

●2005年

- ・第6期自然エネルギー学校・京都（11月19日）主催：(特)気候ネットワーク
- ・雲ヶ畑・森の文化祭（12月3日）主催：山仕事サークル「杉良太郎」、薪く炭く KYOTO

●2006年

- ・ニッポン食育フェア（1月14・15日）主催：(社)農産漁村文化協会
- ・地球っこスクール（2月4日）主催：富山YMCA
- ・森林バイオマス利用を考える交流会2006（3月12日）主催：薪く炭く KYOTO
- ・東京都練馬区環境月間行事（6月3日）
主催：グリーンフオーワード、薪く炭く KYOTO
- ・北山の里探検隊ふれあい事業（8月27日）主催：京都市北区役所
- ・京都学園大学のワークショップ（9月17日）主催：地球デザインスクール

【実演風景は別紙3参照】

3. 結果

進捗状況で記したとおり、他団体からワークショップの依頼が多数あり、実演の中でご意見をいただきながら改良を加え、作成した。

4. 今後の課題と発展

今後も引き続きワークショップ等を行い、実践回数を増やし、よりよい教材へ改定していきたいと考えている。対象別（幼稚園、小学生、中学生、大人、親子）に教材の中身を整理できなかったことが課題であり、今後改善していきたい。

野外ワークショップはパターンを増やしていきたいと考えている。

5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

2年にわたって助成をいただき、ありがとうございました。昨年度に続き、成果報告の提出が遅れ、申し訳ありませんでした。